

応援してくださっている法人・団体の皆様

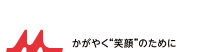
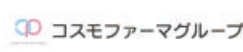
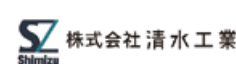
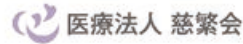
多くの法人・団体の皆様からの活動資金や食品等の物資によってこの活動は支えられています。



ISM FOODS



ここを動かすスポーツ。



※2026年7月現在



※特典として、活動報告書の送付、ロゴ使用权、WEBサイトへのバナー掲載、社名記載などがございます。
詳細はお問い合わせください。
※Syncable(シンカブル)は、個人と非営利団体を繋ぐ、寄付のプラットフォームサービスです。

法人／団体の方

当プロジェクトへの寄付は、下記の3つの方法より行うことができます。
継続したご寄付の場合「プロジェクトパートナー※」として特典がございます。

継続的な支援

毎月5,000円からの継続寄付
(口座振替)

年1回の支援

振込での寄付(銀行振込)

シンカブル※からの寄付

クレジット・Amazon Pay
ネットバンキング

個人の方

個人での寄付を
希望されている方は
公式サイトを
ご覧ください。

公式
サイト

寄付に関するお問い合わせ

Tel. **024-945-0369** 受付時間 平日(月～金曜) 9:00～17:00

Mail. happychild-p@aikuen.or.jp 郡山ハッピーチャイルドプロジェクト事務局 宛

あさかホスピタルグループ
社会福祉法人 安積愛育園

〒963-0102
福島県郡山市安積町笹川字経坦52
(総合児童発達支援センターアルバ内)



郡山 ハッピーチャイルド プロジェクト

発行
2026年
8月

2025年度事業報告書

代表メッセージ

日頃より「郡山ハッピーチャイルドプロジェクト(以下、郡山HCP)」の活動に多大なるご理解とご支援を賜っております皆様、心より厚く御礼申し上げます。
本プロジェクトは、2022年10月、株式会社ヨークベニマル様(当時のライフフーズ様)から「食材を通じて子ども食堂やこどもたちを支援したい」というご相談をいただいたことをきっかけに始動いたしました。設立以来、社会福祉法人安積愛育園が事務局として、企業や団体の皆様と地域のこども食堂を繋ぐ「ハブ機能」を担い、「地域全体でこどもたちを支える仕組み」を作ることに取り組んでまいりました。

2025年度(2026年3月末時点)、プロジェクトに共感し伴走してくださるパートナーは、76企業・個人9名にまで拡大いたしました。メインパートナーである株式会社ヨークベニマル様、運営パートナーの株式会社イズムフーズ様をはじめ、多くの企業の皆様から寄せられた寄付金(募金箱含む)は1,050万円を超え、今年度もその温かい志をこどもたちへの支援へと確実に繋ぐことができおります。支援対象となるこども食堂は41団体(6市町村)へと拡大し、年間2,900箱の食材や約6トンのお米の配布を通じて、各こども食堂の運営をバックアップしております。また、企業の皆様が自社の強みを活かし、段ボールの提供や冷凍食品の寄贈、あるいは店舗への募金箱設置など、多様な形で参加して下さることで、郡山HCPの活動はより強固なものとなりました。皆様の多大なるご協力に対し、改めて深く感謝を申し上げます。

【こどもたちの笑顔と向き合って: Happy Boxが届ける希望】
私たちが活動続ける原動力、それは何よりもこどもたちの「笑顔」です。年2回開催しているフードパントリーで配布する「Happy Box」は、こどもたちにとって、まるで宝箱を開けるようなワクワクする瞬間を届けるものです。昨今の物価高騰は、多くの子育て家庭に深刻な影響を及ぼしています。パントリーを利用されたご家庭

からは、「物価高と猛暑の中、こども1人でも食べられる食材は本当にありがたい」「箱を見て大興奮するこどもの姿に救われた」といった切実な声が届いています。あるお子さんが、箱の中身を見て「こんなにお金払ったの?」とお母さんに尋ねた際、地域の方々からの支援であることを伝えられ、親子で「ありがたいね」と語り合ったというエピソードがありました。こうした「幸せの瞬間」を地域全体で作り出していくことこそが、こどもたちの健やかな成長、そして「自分は地域に見守られている」という安心感に繋がっていくのだと信じてしています。

こどもたちが思い切り遊び、お腹いっぱい食べ、安心してぐっすり眠る。そのような当たり前の日常を、社会の状況に左右されることなく守り抜きたい。誰一人取り残されない社会を目指す私たちの歩みは、皆様の支えがあって初めて成立するものです。今後は、対面せずに必要なタイミングで食材を受け取れる「コミュニティフリッジ(無人型共同食糧庫)」の設置など、支援を必要とする方々の尊厳を守り、より柔軟に寄り添える仕組みづくりにも挑戦してまいります。

最後になりますが、私たちの活動は地域の皆様に支えられています。今後もあさかホスピタルグループ、そして地域社会の皆様と手を取り合い、郡山、そして福島のこどもたちが明日への希望を抱ける地域づくりに邁進してまいります。こどもたちの「しあわせいっぱい笑顔」のために、引き続き、皆様の変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

郡山ハッピーチャイルドプロジェクト
代表 佐久間 啓



今年度も、たくさんの応援・支援をありがとうございました

「ひとりじゃないよ。
みんなで過ごそう。」

【フードパントリー】地域の子育て家庭への寄付食材の配布支援

企業様からの寄付食材を子育て家庭を対象に無償配布する、SDGs達成に向けた取り組みです。1家庭10kg相当分の食材を配布しています。

協力企業様のべ119社 配布数のべ1,157世帯に配布
第1回～第6回（2020～2024）

第7回 協力企業様30社/計186世帯に配布 2025年7月27日実施
第8回 協力企業様18社/計209世帯に配布 2025年11月9日実施

利用した方からのメッセージ

毎回ご協力くださる企業様には、心より感謝しています。箱を開け、子ども達とワクワクしながら中身を取り出しています！好きなお菓子やジュースが入っていると歓声が上がります。次回も楽しみにしています♪



何が入っているんだろうと、ワクワクすることもたち。開けると「これはジュース！これはおみそしる！」と紹介してくれました(笑)。子どもたちだけでなく、親までワクワクさせていただき、本当にありがとうございました。

ダンボールいっぱい食材が入っていて驚き、本当に助かります。お菓子やジュースもあり、子どもが喜んでいました。物価高でお米も高く、備蓄米を買うのが精一杯なので、美味しいお米が入っていたのも嬉しいですね。ありがとうございました。

本日ありがたく受け取りました。物価高と猛暑、そして夏休み。ことも1人でも食べられるカップ麺などの即席食品や、おやつ、飲み物など、すぐに使えるものばかりで本当にありがたいです。早速、持ち帰っていただいています。子どもが『こんなにお金払ったの？』と聞くので、このような団体から支援をいただいていることを伝えました。『ありがたいね』と言っていました。本当に感謝です。食べ物を大切にします。この機会をくださり、ありがとうございました。

大好きな食べ物がたくさん入っていて、とても嬉しかったです。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！



夏休みに最高のプレゼントをいただき、子どもたちも大喜びでした。暑い中、重いお米を車まで運んでくださった方にも感謝しています。母子家庭で約10年、みなさんに支えられながら歩んできました。今年は介護福祉士国家試験に合格すると決めています。ハッピーチャイルドプロジェクトさんでいただいた幸せを胸に、これから家族仲良くがんばります。



【寄付食材配布事業】地域の子ども食堂への食材配布支援

食材提供



子ども食堂

のべ468団体

2022年～2024年

のべ1,182団体

郡山周辺市町村の子ども食堂39団体以上へお声掛け（2025.4～2026.3現在）



配布数

のべ2,901箱

2022年～2024年

のべ7,980箱

子ども食堂からのメッセージ

なかなかもらえないこともありますが、大変助かっております。

LINEでのお知らせと仕分け作業大変だと思いますが、これからもよろしくお願いします。

いつも大変お世話になっています。



ドーナツ、パンなど冷凍食品をはじめ、様々な食品をいただけて運営面でとても助かっています。ありがとうございます。



情報交流会（お茶会）を通じて支援企業様とつながり、そのご協力で子ども食堂の体験プログラムを実施しました！子どもたちにもとても喜んでいただきました。

情報交流会（お茶会）

子ども食堂間での協力や連携と支援企業との情報交換の機会として実施しています。ふくしま子ども食堂NETの協力で福島市にて開催しました。郡山ハッピーチャイルドプロジェクト加盟の子ども食堂や他のエリアの子ども食堂に日々の様子や悩み等を共有しながら、より良い子ども食堂の運営や、協力・連携に向け情報交換をしています。今年は福島市にあるふくしま子ども食堂ネットワークと情報交流会を開催しました。



参加団体・企業

2025.9.9
9団体／4社

宅食事業

市町村と連携し行政や社会福祉協議会の支援対象であるご家庭で特に食の支援が必要なご家庭へ寄付食材をお届けしています。約80kg/月の食材を市町村担当者が、直接訪問し配布する為、効果性の高い事業です。

配布量1,320kg/配布世帯数142世帯



米配布



のべ5,938kgの米



のべ61団体

月の利用児数、開催数、フードパントリーの開催数に応じて分配率を設定
年2回（11月、3月）配布

支援



支援企業数個人

プロジェクトパートナーの企業様に加え、個人でご支援いただいた方々の総数

2022年設立～ 21団体
2023年度 47団体
2024年度 51団体
2025年度 76団体

支援実績
2026年
3月31日現在

プロジェクトパートナー 76企業／9名

協賛企業・団体

計 10,526,073 円

うち募金箱による寄付 1,082,769円

これまでの寄付金総額

2022年 450万円 2023年 825万円 2024年 1313万円 2025年 1052万円

うち募金箱による寄付

5企業 47ヶ所

店舗等に募金箱を設置していただき集まった金額

2022年 24万円 2023年 68万円 2024年 141万円 2025年 108万円

過去の事業報告書はこちら



2023年度版



2024年度版

フードドライブ連携（ヨークベニマル全店実施）

ヨークベニマルでは「フードロスの削減」と「子ども食堂の支援」を目的に2023年5月からフードドライブ事業を実施しています。ご家庭で使いきれない食品をお客様から寄付（おすそわけ）していただく活動で、店舗に設置したボックスにいれていただき、それを地域の子ども食堂やフードパントリー、フードバンクを運営している団体に毎月お渡ししております。

みなさんのおかげで、毎月たくさんの食品が集まり、参加された団体にも大変喜ばれております。

実績
2025年3月～
2026年2月
合計 67,830 kg
(うち福島県 20,272 kg)



第2回活動報告会



当プロジェクトの第2回活動報告会を2025年10月にヨークベニマル様本社にて実施しました。子ども食堂・企業・行政・関係者含め110名を超える参加があり、2024年度の活動実績及び支援等を報告しています。また子ども食堂の活動報告や企業の支援報告を行い、子ども食堂支援の理解を深め、多くの企業に支援の輪を拡げていただく機会としています。

2025年度収支報告について

2025年度は、企業・個人を合わせて80を超える皆さまからご支援をいただくとともに、47店舗に設置いただいた募金箱への浄財を合わせ、総額約1,000万円の温かいご寄付を賜りました。お寄せいただいたご寄付は、地域の子ども食堂への食材提供や、子育て支援を必要とするご家庭への食材配布などに活用させていただきました。物価高騰が続く中、多くの方々から感謝の声が寄せられており、皆さまのご支援が地域の子どもたちとそのご家庭を支える大きな力となっています。また福島県の補助金を活用し、寄付金や提供物資の管理等をシステム化する事業を実施することで、事務負担の軽減と運営の効率化を図りました。今後も、地域企業や支援者の皆さまと、子ども食堂や子育て家庭をつなぐハブ機能としての役割を果たし、支援を必要とする方々へ皆さまの善意を届けてまいりたいと思います。あわせて、地域全体で子どもたちを支える輪がさらに広がるよう、継続的かつ安定した事業運営に努めてまいります。皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業収入

寄付金収入	9,443,304	76企業 9個人
募金箱による寄付	1,082,769	47ヶ所
システム導入補助金	800,000	福島県システム改修補助金
前年度繰越金	7,960,426	
収入 計	19,286,499	

事業支出

食材配布	6,433,478	お米（11月・3月）ほか
広報費	1,104,111	webページ改修・更新作業
情報交流会費用	58,504	レンタルバス代ほか
システム利用料	1,118,390	システム改修・年間使用料
通信費	169,605	切手・通信費等
その他	46,038	振り込み手数料ほか
事務局経費	3,157,821	
翌年度繰越金	7,198,552	
支出 計	19,286,499	